

「情報公開文書」

単機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

「二次救急医療施設である当院に搬送された頸髄損傷の特徴」に関する研究

1. 研究の対象

2015年4月1日 から 2018年3月31日 までの間に、当院に救急搬送された方で、頭頸部外傷を有する方、頸髄損傷の診断に至った方

2. 研究実施期間

機関の長の許可日 から 2024年6月30日 まで

3. 研究目的・方法

目的：本邦では高齢化が進み軽微な受傷機転による外傷の救急搬送事例が増加傾向にあります。転倒による頭部外傷や低エネルギーの交通外傷などで重傷度の高くない症例が二次救急医療施設に救急搬送となりますが、来院後に頸髄損傷など緊急性、専門性が必要となる診断に至る場合があります。軽微な受傷機転による頸椎髄損傷は増加しており、このような症例では頸椎保護をされずに搬送される事があり頸髄損傷を念頭に置いた初期診療をしなかった場合、予後を悪くすると可能性があります。今回、二次医療施設である当院に救急搬送となった頭部外傷や頸部痛を訴える外傷において、頸髄損傷の診断となった症例についてその特徴を検討します。

方法：この研究に使用する情報として、診療情報から項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除

し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・ 試料：該当せず
- ・ 情報：年齢、性別、受傷機転、診断名、頸髄損傷の神経学的および機能的分類、治療内容、画像診断結果、転帰

5. 情報の提供先・提供方法

他機関への情報提供は行わない

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部附属八王子病院 （電話：代表 042-639-1111 内線：5350）

研究責任者 救命救急医学科 講師 杉田真理子

問い合わせ担当者 救命救急医学科 講師 杉田真理子